

スマイルまなづる 140 号

真鶴町立まなづる小学校
令和6年度学校だより
5月14日(火)

学校教育目標

「考える 関わる 創りだす」

～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



地域とともに「考える・関わる・創りだす」

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置しました

昨年度までの「学校評議員会」の仕組みをさらに発展させ、より多くの地域の方や保護者のみなさまと、学校だけではなく地域と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとして、一体となって子供たちの成長を支えていきたいと考え、本協議会を5月1日に設置しました。

第1回を5月2日（木）に開催しました。学校の目的やビジョンを共有し、熟議をとおして、役割分担しながらこれからを生きる子供たちを育てていきたいと考えます。

【第1回協議会の内容】

- 1 学校運営協議会委員委嘱
（真鶴町教育委員会より）
- 2 令和6年度 学校運営について（校長より）
- 3 講話「コミュニティ・スクールの可能性」
竹原 和泉氏（NPO法人まちと学校の
みらい代表理事）

1 協議会委員は、12名です。
保護者・自治会・民生委員など地域
や学校職員で構成されています。

2 「令和6年度学校運営グランドデザイン」・
「スマイルまなづる 137・138・139」
を中心に説明し、承認をいただきました。

【竹原先生のご講話から】

＜協働とは？＞

異なった立場の人が、同じ目的のため
に、対等な立場で活動すること

＜子供の本気をどう高められるかが問われている！＞

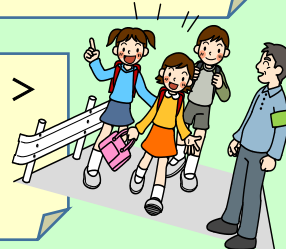
○いろいろな経験・様々な人との出会い・安心して失敗
○大人が用意し過ぎず、先回りし過ぎず
→ 地域だからこそできることを

＜子供たちに新しい学びを！＞

- 自分なりの問いを立て
- 自分なりの仕方
- 自分なりの答えにたどり着く学び

＜子供たちを主語に同じ方向を向いて！＞

- ゆるやかに連携
- 「OK」よりも「Let's」



＜なぜ、連携？協働？＞

学校も地域も経験したことがない課題に直面
している中…歩みを止めずみんなで最善策を
考えていけるかどうかが問われている。

誰かが何とかしてくれるのではなく、自分たちが「当事者」
として自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供
たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そ
んな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、子供た
ちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こ
そ、これからの未来の姿である。（H27 中央教育審議会）